



2025年5月29日

各 位

会社名 HEROZ 株式会社
代表者名 代表取締役 CEO 林 隆弘
(コード番号：4382 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役 CFO 森 博也
(TEL 03-6435-2495)

特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年4月期第4四半期の連結決算において、特別損失としてソフトウェアの減損損失を、また2025年4月期第4四半期の個別決算において、特別損失として関係会社株式評価損を計上するとともに、2024年6月14日に開示した2025年4月期の業績予想について、下記の通り修正することとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

グループ会社である株式会社ストラテジット（以下、「ストラテジット」という。）に関して計上していたソフトウェアについて、減損の兆候が認められ、改めて事業計画等を精査し当該ソフトウェアに係る回収可能性を検討した結果、特別損失として96,987千円の減損損失を計上することとなりました。

また、当該減損損失の計上に伴い、個別決算においても、特別損失として関係会社株式評価損231,892千円を計上しております。ただし、関係会社株式評価損は連結決算では消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

ストラテジットについては、急激に成長するSaaS市場において、「ストラテジットが保有するSaaS導入や連携に関するドメインナレッジ」×「当社が保有するAI開発ノウハウ」を通じて事業成長・市場成長を推進するべく、2022年8月に株式取得・グループ会社化を行いました。その後、営業・技術・マネジメント等の面で情報連携・コミュニケーションを行い、事業成長・グループシナジーを追求してまいりました。ストラテジットは、2024年5月に、SaaS間連携プロダクトである「JOINT iPaaS for SaaS」をリリースし、当事業年度は、従来のSaaS導入支援や、SaaS間連携開発のソリューション事業から、JOINTを主軸としたリカーリング型事業モデルへの展開を行っており、プロダクトの拡販

に向けた営業人員やマーケティング費用を先行的に投資していくステージとなっております。

具体的には、JOINT の拡販に向けた取組みを推進していくと同時に、事業体制・コスト構造の見直し等を行い、当事業年度後半にかけて、JOINT 関連の大型案件を受注するなど一定の成果が見られてまいりました。一方で、上記プロダクトに係る投資も大きく先行する状況が続いており、改めて当事業年度末において固定資産に関して減損判定を行った結果、同社のソフトウェアについて減損の兆候が認められ、減損損失の認識要否を精査した結果、2025 年 4 月期において、ソフトウェアの減損損失を計上することとなりました。

なお、2025 年 4 月期において計上することとなった減損損失はソフトウェアの一部であり、今後の事業計画・事業環境等を鑑みて、回収可能と認められる部分については引き続きソフトウェアとして計上しております。SaaS 市場は今後も拡大を続けると見込まれており、生成 AI や AI エージェント等の活用が急速に進む中、各種 SaaS 間のシームレスな連携は今後も重要なニーズ・トレンドとなるものと想定しております。JOINT については、2025 年 4 月に、当社の AI アシスタント SaaS 「HEROZ ASK」を組み込み、データ連携処理の自動化による機能強化を実施しており、今後、JOINT によるプラットフォームの拡販・機能拡充等を通じて、ストック型ビジネスとしての更なる事業成長・リカーリングビジネス定着・ARR 拡大を目指してまいります。

2.修正の内容

2025 年 4 月期の連結業績予想数値の修正（2024 年 5 月 1 日～2025 年 4 月 30 日）

(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	6,000	500	450	30	1.99 円
今回修正予想 (B)	5,929	306	228	△177	△11.75 円
増減額 (B - A)	△71	△194	△222	△207	—
増減率 (%)	△1.2%	△38.8%	△49.3%	—	—
前期実績 (2024 年 4 月期)	4,841	451	368	△1,134	△75.45 円

3.修正の理由

当社グループは、「AI 革命を起こし、未来を創っていく」をビジョンとして掲げ、BtoC 事業ではオンライン将棋対戦ゲーム「将棋ウォーズ」、BtoB 事業では金融・建設・エンタメ領域をはじめとした AI ソリューション開発や法人向け生成 AI 「HEROZ ASK」などのサービスを展開しております。当社グループの事業領域である AI 市場並びに、AI BPaaS 市場・SaaS 市場は引き続き拡大基調にあり、既存事業の成長に加えて新規事業の開発・育成にも注力しております。

市場環境が堅調に推移する中、各新規事業の立ち上げに伴う先行投資が今期は期初の想

定を上回る水準で推移したこと、下期に計上を予定していた BtoB 事業にかかる売上が案件計上時期の遅れ等により 2026 年 4 月期への計上となったこと、さらに、上記 1. のとおり特別損失を計上することにより、売上高及び各種段階利益が期初の業績予想を下回る見通しとなったことから、業績予想を変更いたしました。

しかしながら、2026 年 4 月期においては、既存事業の安定した成長と新規事業の成果が徐々に顕在化する見通しであり、AI 市場・SaaS 市場の拡大を追い風に、事業基盤の強化が見込まれます。今後も市場の成長を最大限に活かし、持続的な成長を目指してまいります。

株主・投資家の皆様にはご迷惑をおかけしますことを深くお詫び申し上げますとともに、引き続きのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、上記 1. の特別損失も含め、2025 年 4 月期の連結業績については、当社監査法人与最終協議中であり、今後、開示すべき事項が発生した場合には、改めて速やかにお知らせいたします。

以上